

しまねろうふく

新年号



年頭あいさつ

島根県労働者福祉協議会
会長 宮原 一正

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年一年間、会員を初め多くの関係者の皆様に支えられ、島根県労協活動が展開できました事に心からお礼申し上げます。

さて、昨年も様々な動きがありましたが、我々の求める「はじめに働く者が報われる社会」が一段と遠退くような動きが多かっ

たと感じます。

第44回衆議院選挙の結果もそうでした。定率減税廃止をはじめサラリーマンに的を絞った増税の動き、また、保険の不払い問題、大手銀行の利益が過去最高を記録しても利益還元は一切論議されない、更には、三位一体改革による地方財政の危機。

とりわけ島根県は、官需中心の経済構造であり、将来不安を一段と助長する情勢にあります。

このような情勢下、島根県労協は、連合をはじめ全ての労働団体や事業団体と連携し「豊かな地域社会」の実現に向け、今年も精一杯取り組む所存であります。

会員・関係各位のご支援・ご指導を心からお願い申し上げ、皆様のご多幸を祈念し年頭のご挨拶と致します。

新年あけましておめでとうございます。

今年こそ、暮らしに夢をもてる、活力ある福祉社会への扉を開く年にしたいとの思いで新年を迎えました。

過度な市場経済優先・競争原理万能主義が「強い者勝ち」の流れを加速させる中で、安心・安全・信頼の社会を創造していくためには、連帯・助け合いに基づく「共助」が中心的役割を果たしていかなければなりません。

一方で、「団塊の世代」を導火線とする人口構造・社会構造の急激な変化は、労働運動や労働者福祉運動にも、きわめて深刻な課題を突きつけています。今こそ、労働運動と労働者福祉運動は一体として生まれ発展してきたという歴史の原点に立ち返り、それぞれの強み、ノウハウを持ち寄りながら、勤労者の生涯生活を支える

「協働の体制づくり」を急がなければなりません。

昨年、連合・中央労協・労金協会・全労済の4団体は、地域を拠点としたワンストップサービス（総合生活支援サービス体制）の実現に向けて共同の体制づくりを進めることで合意しました。今年は、その具体化に向けた取り組みを進める年です。各都道府県単位で関係団体による「検討の場」を設置し、それぞれの地域の実情にあわせた写真を描きつつ、できることからスタートさせていくことが必要です。

また、労働運動・労働者福祉運動も半世紀を超え、「創業の初心」を体感した先人も少なくなってきました。運動の理念や歴史、社会的役割についての総合的な学習・教育活動を展開し、次代を担う活動家やリーダーを発掘・育成していくことも重要な課題です。

昨年11月の第57回定期総会では、これまでの活動を継承しつつ、これらの重点課題にメリハリをつけて取り組んでいく方針を全体で確認していただきました。私も専任の会長として、全国の地域・職場を駆けめぐり、対話を積み重ねながら、働く人たちの身近で役に立つ組織・運動づくりに汗を流したいと思います。

皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



松江 佐伯 千尋

労協運動の一番の課題は、労協を知らない労働者が真に多いことだと思います。勤労者の為の団体であることをアピールし、各種活動に一人でも多くの方が参加して頂ける為に何をしたら良いかを考え、実行に移す年にして参りたいと考えておりますのでご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

安来 横田 一道

新年あけましておめでとうございます。

地区労協を取り巻く情勢は非常に厳しく、自治体からの補助金削減で活動の見直しをせまられています。

このようなときこそ労協に集う組合の英知を結集して、希望ある未来を切開こうではありませんか。

雲南 田中 保成

昨年も、何かと暗いニュースばかりが耳に残る一年でしたが、背景には経済問題もあり、労働者を取り巻く環境も、依然として厳しい面があります。政府の見解による景気の回復傾向も、私たち生活者にとっては実感もなく、年金問題をはじめ、予想される消費税率アップによる増税や、各種控除の廃止による実質増税など、これから私たちの生活に重くのし掛かってくる問題となっています。

雲南地区労協も、市町村合併後の福祉活動の新たな拠点作りと体制作りを念頭に置き、この一年の活動を作り上げたいと思います。私たち自身が助け合い、支え合って生活と福祉の向上を共に目指していきましょう。

この1年の会員の皆様の御活躍と御多幸をお祈りいたします。

出雲 藤江 晃

競争至上主義と市場万能主義を標榜する小泉政府の構造改革路線のもとで、働く者を取りまく状況は依然として厳しく、また、年金、医療などの社会保障制度の見直しなど、将来生活への不安は高まるばかりです。しかしながら、このようなときこそ勤労者が正当に報われる「福祉型社会」を実現していくことが大切であると考えています。

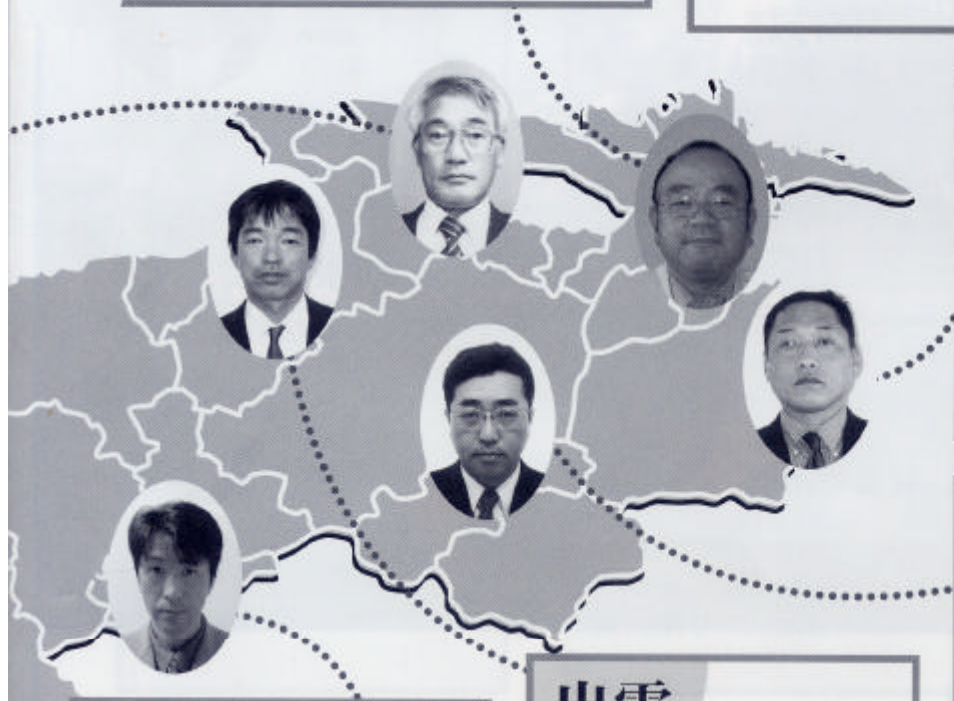
会員一人ひとりの参加をお願いし、勤労者の生活と福祉の向上をめざさなければなりません。

邑智 高橋 武司

長期不況による90年代からの税収の落ち込みに加え、三位一体改革の影響により私たちの生活環境は依然厳しい状況にあります。

労働組合と住民が協働作業を進めることを基礎に、分権自治の実践と質の高い住民サービスの確立をめざさなければならないと思います。

また、このような情勢の中であるからこそ、私たち労協は必要不可欠な存在であり、労協の活動を通じて、勤労者の福祉向上と地域貢献を実践していきましょう。



地区会長

2006年の決意 謹賀新年



労働者福祉
中央協議会

会長 笹森 清

江津
石田 研二

私たちの暮らしは一層厳しさを増すように感じます。安心して暮らせる社会の実現に向け、社会福祉や教育等、解決していかなければならない課題は山積していますが、一人の力はわずかでも、手を取り合うことで解決できるはずです。皆さんの活動で意義ある労働協活動にしていきたいと思います。

大田
福田 実

昨年は、当地区でも大田市・仁摩町・温泉津町が合併し、新大田市が誕生しました。2006年は、これまで以上に地域の勤労者の連携を強化し、一体となって労働協運動を推し進めたいと思いますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

平田
松本 隆

新年明けましておめでとうございます。昨年中は地区労働協の活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。さて、市町村合併により新しい出雲市が誕生し、当平田地区もその一部となりました。

平田地区労働協についても、出雲地区労働協との統合が検討されています。新しい出雲市はまだスタートしたばかりであり、その中で平田地区が今後どうなっていくかはわかりませんが、平田地区に働く会員の福祉の向上を図るため、事業団体と協力しながら活動していきまうのでご協力をお願いします。

隠岐
(副会長) 宇野 等

国が地方自治のために三位一体の改革を提唱しながらも、実質は地方の切り捨て、弱者の切り捨てを進めようとしています。また、そんな中景気の回復傾向が見られるといいながら、高い失業率、高校生など若年層の採用率の低下など、根本的な解決は依然不透明な状況にあります。

しかしながら、こういう状況の中だからこそ勤労者全員が団結し、「公正・ゆとり・豊かさ」の表現を目指し、地域に根ざした活動を展開していかなければなりません。

今年こそは、勤労者にとって実りある年になるよう、手を取り合って頑張りたいと思います。

益田
吉岡 勝弘

明けましておめでとうございます。

成年の本年は、大いに躍進の年であるようにと折っているものの、「小さな政府」を唱える小泉内閣のもとでは、到底期待できません。弱者いじめの政治をやめさせ、勤労国民のくらしと福祉、平和を守るために、本年も一層連携を強め、運動の前進をはかりたいと思います。

会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

浜田
山本 好教

新しい年を迎え、身が引き締まる思いです。本年2月にはトリノオリンピックが開催されますが、日本人選手の活躍とともに今年1年が景気回復により生活安定に繋がる年となることを期待しています。

昨年10月の市町村合併により、新浜田市が誕生し、行政だけでなく、すべての面でより一体感をもった活動が必要とされています。

地区労働協の活動も時代の変化に対応して、社会貢献事業による存在感が示せるよう頑張りたいと思いますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

島根県労福協 2005年度ライフプランセミナー 報告



▲全労済ファイナンシャルプランナー



▲中国労働金庫ファイナンシャルプランナー

団塊世代の明る
い未来

今年で4年目を迎えましたライフプランセミナーは、10月16日の出張会場を皮切りに、浜田会場、松江会場の県下3会場（総数百八十五名の受講者）で開催し、第一部に芥川賞作家の三田誠広氏を招き基調講演、第二部に中国労働金庫・全労済ファイナンシャルプランナーによる「社会保険制度の基礎知識・退職後のプラン」「在職時からのライフプランと生涯生活設計」についてのセミナーを開催しました。

受講者の皆様方から「旦那を連れてくれば良かったです」「私の職場に向いて開催していただけないでしょうか」「もう少し話が聞きたかった」「これまでこの様なセミナーが行われていた事は知りませんでした」「次回も開催して下さい」など、様々な意見を戴き成功裏に開催することが出来ました。



基調講演

「団塊世代の明るい未来」

芥川賞作家・三田誠広

講師 三田誠広氏

生んだ。日本は階級のない平等な社会だから、皆が上昇志向を持つ。そして受験勉強しかやらなくなる。教養が身につかない。欧米は、中流・上流しかビジネスマンになれない階級社会。だから欧米では無理をせず、そこそこの勉強しかしない。その分、家族を大切に、文化に親しみ、教養を身につける。団塊世代の前の世代は軍国少年で、戦前・戦中はお国のため、戦後は企業のために滅私奉公をしていた。彼らには教養が身につけていない。定年後、会社には空っぽにされ、抜け殻あるいは産業廃棄物にされてしまった。各家庭にひとりずついる産業廃棄物には、国も自治体も責任を持たない。産業廃棄物がいと家庭は暗くなる。子孫もフリーターにでもなろうと考える。

団塊世代は、エコノミック・アニマルになるよう教育された。団塊世代には、モラトリアムがある。一人ひとりが自覚を持ち、定年後をどう生きるかを考え、キャリアアップスキルを磨くべき。高齢者は家庭にいてはいけない。定年延長で働きたいなら、若い人と楽しく平等に働くべきだ。団塊世代は理屈っぽく、若い人に嫌われている。若い人に任せ、へりくだるくらいでないと生きていけない。選択肢は働き続けるか、趣味に生きるのか、その中間のボランティアに勤むのかの3つだ。

かつて日本には遊芸というのがあり、随分して趣味に生きる人々がいた。カルチャーセンターで趣味・遊芸を学び、バフォーマンスをして友達を作ったらどうだろうか。教養があるとは、わずかな金で楽しむことを知っていることだ。教養のない人は金のかかるギャンブルやゴルフに耽る。金を生み出しはしないが、使いたい趣味を身に付けたい。ある程度ノウハウを身に付けると、趣味は仕事になる。

趣味の見つからない人は、ボランティア活動をしたらよい。地域のために活動をするのもよい。世のため、人のために尽くすには、仲間が必要になる。年金があるのだから、もう金は少なくてよい。NPOでは偉い人ほど金はない。これまでは日本ではいくら稼いでくても年金を保つことが出来た。これからは社会や公に対して役に立っているかどうかで年金を保つことになる。それが老後を支えることになる。プライドもなく、金もなければ病気になる。医療費はただではない。失業すると免役力が弱くなる。毎日行く所があつて、会友がいて、社会の役に立つことが大切だ。やるべきことがない人が無理なく働き、働きたい人が働ける環境を作らなければならない。いわば老人フリーターである。企業は、同じ賃金なら20歳の頼りない若者より、体力的には劣るかもしれないが70歳の老人を雇うはず。健康に不安があるなら、リハビリを用意しておけばよい。体調に合わせて働く、ワークシェアリングをすればよい。そのような環境ができれば、財政負担も相当軽減できる。国、自治体、労組が支援すべきだ。

組合が、組合員のためにだけに運動を展開すれば、組合員とフリーターの格差がでる。組合員が特権階級化するだけ。大企業の労働者は、アウトソーシング先の労働条件まで考えるべきだ。団塊世代はビビリー世代でもある。企業に入り、中流にはなれたが、スーツを脱ぐことは簡単だ。最低限の生活も怖くはないはず。趣味やボランティアで暮らしていけるはず。これからは、働いているようすだけでは、その人の貧富がわからない時代が来る。明るく暮らせるようになる。



西部労福協 第24回研究集会 参加報告

日時/2005年11月1日(火)～2日(水) 場所/広島市「ワークピア広島」

浜田地区労福協

事務局長 直江 大悟

1日目

◎基調講演

「シニアの地域デビュー」奈良 昭
(財)勤労者マルチライフ支援センター
金沢グループリーダー

奈良氏は弁護士出身の堀田 力氏が創設した「さわやか福祉財団」に所属している。

地域共生をテーマに企業が地域貢献を行う役割や意義、また勤労者ボランティアの必要性和その手法についての講演であった。

勤労者がボランティアを行う必要性は感じるが、仕事を抱えながら主体的に活動することは、なかなか大変。そこでNPO法人等を活用する手段が有効であろう。講演ではNPO法人との連携や、様々な法人(宗教関係や暴力団が造ったものもある)の見分け方も含め、広範な説明があった。企業・勤労者・定年後の人材をいかにボランティアに参加させるかが、今後の課題であると感じた。

◎特別報告①

暮らしサポート
「地域における」

ワンストップサービス 菅井 義夫
中央労福協事務局長

日本の人口がどんどん減少する中で、60歳以上の高齢者が人口の3分の1を占める時代が目前となった。

定年後の年金や健康の不安を抱え、安心して暮らせる基盤造りのために、連合・中央労福協・労金協会・全労済の4団体は「勤労者の暮らしにかかわるサポート事業」を共同で立ち上げることを合意した。今後は、勤労者

側から国民の福祉や暮らしを安定させるために行政サービスに代わる仕組みや体制を造る取り組みを進めていくことが重要との報告であった。

2日目

◎特別報告②

「環境NPOの活動」 早田 保義

NPO法人「森のバイオマス研究所」
理事長(県立広島大学教授)

早田氏の勤務する大学は庄原市にあり、典型的な中山間地域である。若者が集まり、地域が活性化するための施策がないかと、3年前から里山に注目した活動をしている。

イギリスのBBCテレビにも紹介され、「サトヤマ」と認知されるほど昔前の日本の山間部での暮らしは、物(木)を有効に使い、無駄がなく環境にもやさしい生活をしていった。報告ではバイオマスという、廃材やこみをエネルギー資源として利用する取り組みが紹介された。

間伐材や廃材を、截断圧縮しペレットという固体燃料を製造し、暖房に利用している。

石油や灯油燃料と違い、窒素酸化物や硫黄酸化物(NOx・SOx)が排出されずクリーンで、今まで無駄にされていた間伐材や廃材の有効活用が図られ、更には木の燃える炎が人に安らぎまで与えるというすぐれものである。

ただし、実用化の端緒にいたばかりで、今後の普及が望まれる。先日、新聞で島根大学にペレットストーブが配備されたとの記事を見た。ストーブの製造業者も、積極的で、何より社員にやる気が出たとの報告もされ、将来が期待される。

◎特別報告③

「第37次
欧州労働者福祉視察」 小川 俊
香川県労福協会長

8月の下旬にデンマーク・スウェーデン・フィンランドを訪問した際の報告。

世界経済フォーラムが発表した「世界競争力報告」では1位がフィンランド、3位がスウェーデン、4位デンマークで日本は9位から12位に後退した。資源もなく、冬場の生活環境も厳しい北欧諸国がなぜ豊かな国の上位にあるのか、日本との違いは何か。それは人材(それが国の唯一の資源である)の認識のもと、人的資源を高めるため国民に対する教育を国策の一番に据えていることである。その教育を通じて団結・連携の精神が根付いており、北欧の人々の認識は、安定した福祉社会を形成するためには税金の納入は当然であり、政治においても労働者がつくる政党が、その国の政治を司ることもまた常識として定着している。組合の組織率は80%(日本は20%を割った)を維持しており、彼らからすると、何故、日本には労働者の政党がないのか不思議だと言った。右肩上がりの時代が終わり、今後の労働組合が何をしなければならぬか、成熟した社会基盤を形成するための役割が求められている。以上、研究集会を振り返ると、自分には社会とどう関わり、どのような社会を目指すのか、我々のすべきことは何かを考えさせられた。退職後の役割も含め、方向性を示した組織を形成することが重要であり、今後の労福協が果たす役割も、また重要になってくると改めて感じました。

各地区労福協でのスポーツ大会



労福協の諸会議



▲県労福協幹事会の様子



▲地区労福協会長会議の様子



▲諸行事実行委員会の様子



▲各地区事務局長会議の様子



▲各地区で定期総会を開催

2005年度 県労協 活動日誌 (報告)

日付	曜日	内容	時間	会場
4/11	月	県労協地区労働部打合せ会議	10:00～	県労協事務局
4/12	火	2005年度第1回執行委員会	13:30～	労働会館201号室
4/15	金	県労協地区労働部打合せ会議	16:00～	県労協事務局
4/18	月	全労連協会主催インストラクター養成講座	10:00～	東京・都庁会館
4/18	金	会計調査	10:00～	労働会館202号室
4/21	木	西部労協2005年度第1回幹事会	14:00～	山口・桜木2F5
4/22	金	中部労協会議・中部ブロック労働協議会	13:00～	広島・クアア広島
4/27	水	2005年度第1回三役会議	12:00～	労働会館203号室
4/27	水	第137回幹事会	13:00～	労働会館201号室
4/27	水	地区労協協議会会議	14:30～	労働会館201号室
4/28	木	出雲子田地区組合年総会	18:00～	出雲・川原
5/9	月	中国労働連第10回役員選挙委員会	14:30～	中国労働連会議室
5/12	木	事務引継ぎ会議	13:00～	労働会館201号室
5/16	月	財)県労協労働者共済会平成17年度第1回評議員会	13:30～	松江テルサ
5/16	月	島根県「しまねろうふく」編集委員会	17:00～	労働会館201号室
5/18	水	しまね・さわかき生涯福祉センター運営委員会	11:00～	松江テルサ
5/23	月	財)県労協労働者共済会平成17年度第1回評議員会	10:00～	松江テルサ
5/25	水	しまね・さわかき生涯福祉センター幹事会	11:00～	労働会館201号室
5/25	水	しまね・さわかき生涯福祉センター幹事会	11:00～	労働会館201号室
5/28	木	県労協地区労働部打合せ会議	10:00～	県労協事務局
5/27	水	第138回幹事会	12:00～	労働会館201号室
5/27	水	第34回定例会	13:30～	中国労働連会議室
5/27	水	中国労働連第2回役員選挙委員会	13:00～	名士館
6/2	木	中央労協・全国研修会(1-4日)	18:00～	中国労働連会議室
6/8	月	中国労働連第3回役員選挙委員会	17:30～	中国労働連会議室
6/7	日	中国労働連第3回役員選挙委員会	10:30～	中国労働連会議室
6/8	月	全労連協会主催インストラクター養成講座	18:00～	浜田ライオンプラザ
6/10	水	事務引継ぎ会議	11:00～	労働会館
6/13	月	中央労協・個人福祉促進協議会	13:30～	太田・山手センター
6/14	火	県労協地区労働部打合せ会議(出雲)する集い	18:30～	労働会館401号室
6/15	水	西部労協協議会	10:00～	西田地区
6/16	木	中央労協・国内交流(1-17日)	14:00～	山口・新緑センター
6/20	月	松江労働福祉協議会第1回評議員会	10:30～	松江テルサ
6/20	月	しまねろうふく編集委員会	15:00～	県労協事務局
6/21	火	安芸地区第32回定例会	18:30～	中国労働連安芸支店
6/27	月	中国労働連第2回定例会	12:30～	グランヴィア広島
6/28	火	西部労協第2回幹事会(28日)	15:00～	静海
7/4	月	中央労協・公益法人制度改正に関する勉強会	13:30～	池田文化センター
7/5	火	しまね・さわかき生涯福祉センター運営委員会	14:30～	労働会館402号室
7/6	水	中国労働連第33回定例会	18:30～	中国労働連安芸支店
7/8	金	松江地区労働部打合せ会議	18:00～	県労協事務局
7/19	火	事務引継ぎ会議	17:00～	労働会館202号室
7/22	金	2005年度第2回執行委員会	16:00～	労働会館202号室
7/26	火	県労協地区労働部打合せ会議(内容第1回検討委員会)	10:00～	松江テルサ
7/28	木	全労連協会主催インストラクター養成講座	13:00～	労働会館401号室
7/29	金	江津地区第31回定例会	18:00～	中国労働連江津支店
8/1	月	新社会人(高校生)のための消費者講座・開催要請	18:00～	湯江高校
8/2	火	出雲地区労働部2005年度定例会	18:30～	出雲会館
8/3	水	新社会人(高校生)のための消費者講座協力要請	9:30～	湯江労働部
8/17	木	県労協第138回幹事会	9:30～	労働会館201号室
8/17	木	しまね・さわかき生涯福祉センター2005年度第2回評議員会	14:30～	労働会館201号室
8/17	木	しまねろうふく編集委員会	16:30～	労働会館201号室
8/18	金	内田町議会の議会運営委員会第2回検討委員会	18:30～	ホテル組
8/19	土	東部労協地区労働部打合せ会議	10:00～	松江テルサ
8/22	月	地区労働部協議会会議	12:30～	労働会館203号室
8/24	水	西部労協チャリティースポーツ大会(全体57名)	8:00～	吉成カントリーCC
8/25	木	新社会人(高校生)のための消費者講座協力要請	10:00～	湯江労働部
8/29	月	ライフプランセミナー・市議会打合せ会議	18:00～	江田地区労働部
8/31	水	ライフプランセミナー・後援団体要請	10:00～	各地団体
9/2	金	ライフプランセミナー・事業所会議	18:00～	労働会館201号室
9/5	月	東部労協地区労働部打合せ会議	13:30～	松江テルサ
9/8	木	中国労働連・中国ブロック労働協議会	16:00～	岡山プラザホテル
9/12	月	ライフプランセミナー・山陰中央新報社打合せ会議	10:00～	県労協事務局
9/16	金	東部労協地区労働部打合せ会議(第12回定例会)	14:00～	ホテル玉環
9/17	土	JAMA第7回定例会	11:00～	労働会館401号室
9/20	月	西部労協第3回幹事会(21日)	15:00～	高知
9/21	火	中国地区労働部協議会2005年度第1回評議員会	12:30～	岡山労働協議会
9/26	日	東部労協チャリティースポーツ大会(全体57名)	8:00～	出雲カントリーCC
9/27	火	島根県・2006年度補助金要請会議	13:00～	県労働部会議室
9/27	火	ライフプランセミナー・講師打合せ会議	15:00～	労働会館201号室
9/28	水	ライフプランセミナー・出雲会場打合せ会議	9:00～	ビッグハート出雲
10/3	月	東部労協地区労働部打合せ会議(内容第2回検討委員会)	10:00～	松江テルサ
10/4	火	県労協協議会会議	18:00～	労働会館203号室
10/4	火	島根県・2006年度補助金要請会議	8:00～	県労働部会議室
10/6	木	第5回地区労働協議会(7日)	15:00～	ホテルサンクワッド
10/11	火	県労協第140回幹事会	14:30～	浜田ライオンプラザ
10/11	火	地区労働協議会・三役会長合同会議	16:00～	浜田ライオンプラザ
10/14	金	中国地区チャリティースポーツ大会(全体44名)	8:30～	大社カントリーCC
10/16	日	ライフプランセミナー・出雲会場(全体56名)	13:30～	ビッグハート出雲
10/17	月	東部労協地区労働部打合せ会議(内容第3回検討委員会)	10:00～	松江テルサ
10/18	火	会計調査	10:00～	労働会館201号室
10/20	木	2006年度事業費精算金検討委員会	10:00～	松江テルサ
10/24	月	県労協地区労働部打合せ会議(10周年記念事業)	14:00～	松江テルサ
10/25	火	島根県・2006年度補助金要請会議	13:00～	県労働部会議室
10/26	金	東部労協地区労働部打合せ会議(内容第4回検討委員会)	14:00～	労働会館201号室
11/1	火	西部労協第24回定例会(2日)	13:00～	ワーキング広島
11/9	水	2005年度第3回労働部協議会(全体65名)	13:00～	新緑センター
11/13	日	ライフプランセミナー・活用会議(全体65名)	13:30～	浜田ライオンプラザ
11/15	火	安芸地区第26回無料法律相談(相談者9名)	10:00～	中国労働連安芸支店
11/16	水	大田地区第26回無料法律相談(相談者8名)	10:00～	大田バスター
11/17	木	江津地区第26回無料法律相談(相談者7名)	10:00～	江津さんセンター
11/17	木	島田地区第26回無料法律相談(相談者8名)	10:00～	島田労働会館
11/27	日	ライフプランセミナー・松江会場(全体62名)	13:30～	労働会館401号室
11/24	木	出雲地区第26回無料法律相談(相談者1名)	10:00～	中国労働連出雲支店
11/24	木	中央労協第5回定例会	13:00～	ホテルサンクワッド
11/29	金	新社会人(高校生)のための消費者講座協議会	16:00～	労働会館201号室
12/15	木	県労協第141回幹事会	14:00～	労働会館201号室
12/15	木	労働会館評議員会	10:00～	労働会館201号室
12/15	木	労働会館評議員会	11:00～	労働会館201号室
12/15	木	労働会館評議員会	13:00～	労働会館201号室
12/15	木	ライフプランセミナー・総括会議	15:00～	労働会館201号室
12/15	木	しまね・さわかき生涯福祉センター運営委員会	16:30～	労働会館201号室
12/21	木	中国労働連・中国ブロック労働協議会・連合中国ブロック協議会	16:00～	ワーキング広島
12/22	金	島根県協議会小委員会(連合1名・労会1名・労会1名)	15:00～	労働会館201号室
12/15	木	ライフプランセミナー・総括会議	15:00～	労働会館201号室
12/21	木	中国労働連・労働部・連合中国ブロック協議会	16:00～	ワーキング広島
12/22	金	島根県協議会小委員会	15:00～	労働会館201号室



▲消費者講座講師(ボランティア)養成研修会を開催



▲各地区で勤労者福祉研修会を開催



▲各地区で障子貼りボランティアを開催



▲江津地区では温泉配りボランティア



▲島田地区では囲碁将棋大会を開催

年頭ひと口 メッセージ



大変長い間お世話になりました。
(期中辞任 2005年12月15日)

監事
岸道三 連合島根
岩田守宏 連合島根
石塚博 連合島根
土井正明 連合島根
桐田直人 連合島根
池淵和宏 連合島根
宇都宮亮明 連合島根
宮崎伸介 連合島根
山崎泰枝 しまね・さわやか
大下哲夫 全労済島根本部
藤田憲男 県生協連
原田圭介 労働会館
周藤新市 中国労働金庫
神門至 幹事会

事業団体 労働団体 関連団体

幹事
事務局長
大下哲夫 全労済島根本部
周藤新市 中国労働金庫
神門至 幹事会
堀内幹夫 連合島根
堀内和弘 連合島根
仲田敏幸 連合島根
永野春樹 連合島根
矢倉淳 連合島根
浅沼延夫 全労済島根本部
連合島根
副会長
宮原一正 幹事会
遠藤渡 中国労働金庫

本年も宜しくお願い申し上げます。

島根県民のしあわせづくりのため果敢にチャレンジします。会員各位のご活躍とご多幸を祈念します。



中国労働金庫
島根県営業本部
本部長
遠藤 渡

人々が喜びをもって共生できる社会の実現へ、生活応援運動を進めていきます。



全労済島根県本部
理事長
浅沼 延夫

重い負担、薄くなる公助の今、全労済は共助の要として頑張ります。



連合島根
会長
矢倉 淳

広がりがつつある格差拡大に歯止めをかけ、労働を中心とする福祉型社会の実現をめざします。



(財)しまね・さわやか
生涯福祉センター
理事長
宮原 一正

皆様の為、地域の為、まめで長生きをモットーに活動します。



島根県生活協同組合
連合会
会長理事
鎌田 憲男

去年は県との災害時応援協定も締結しました。生協の社会的役割の発揮を一層進めます。



フォーラム平和・
人権・環境しまね
代表
杉谷 肇

平和憲法の理念を守り、核のない平和な世界を未来の子供たちに!



(財)島根県中央労働
福祉センター(労働会館)
理事長
矢倉 淳

どなたにでも、手軽に安心して使っていただける「労働会館」をモットーに頑張ります。



日立安来関連
労組連合会
議長
宮原 一正

企業の生々発展に労使協働を実践し、労働者の地位向上に努めます。



島根県友愛会
会長
宮崎 伸介

謹賀新年、昨年は多難な年。今年こそは多幸な年でありますように!!